

平成18年度P R T Rデータ集計結果について

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（いわゆるPRTR法）に基づき、平成19年度に宮城県内（仙台市を含む）の事業者から届出があった平成18年度の化学物質の排出量等の集計結果についてお知らせします。

1 対象年度等

（1）対象年度 平成18年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（2）届出期間 平成19年4月1日～平成19年7月2日

2 集計結果の概要

（1）届出状況

宮城県内の39業種880の事業者から「平成18年度の化学物質の排出量・移動量」について届出がありました。（表1、表2）

業種別にみると燃料小売業が501事業所（県内の届出事業所の56.9%）で最も多く、次いで製造業の179事業所（同20.3%）の順でした。

届出のあった化学物質は、第一種指定化学物質354物質のうち108物質でした。

表1 都道府県別の届出状況（平成18年度排出・移動）

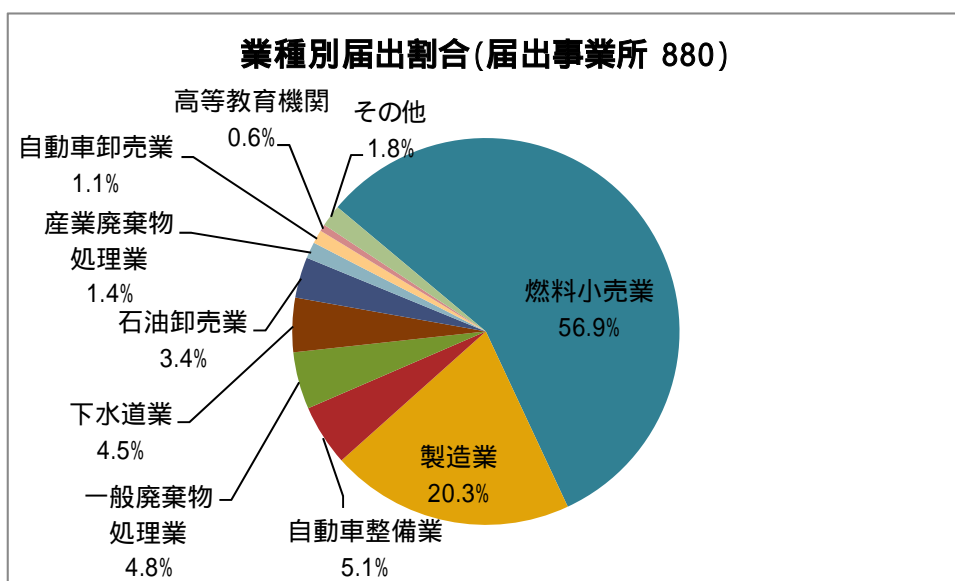
（単位：事業所）

都道府県	届出事業所数	届出物質種類数	都道府県	届出事業所数	届出物質種類数	都道府県	届出事業所数	届出物質種類数
北海道	2221	143	石川県	534	108	岡山県	931	175
青森県	472	77	福井県	423	140	広島県	1004	179
岩手県	562	76	山梨県	386	77	山口県	636	200
宮城県	880	108	長野県	1341	120	徳島県	340	109
秋田県	560	76	岐阜県	951	128	香川県	417	95
山形県	632	102	静岡県	1646	179	愛媛県	548	141
福島県	1128	208	愛知県	2517	168	高知県	211	50
茨城県	1162	192	三重県	837	165	福岡県	1434	148
栃木県	878	132	滋賀県	651	138	佐賀県	385	100
群馬県	825	134	京都府	706	131	長崎県	368	54
埼玉県	1711	185	大阪府	1947	184	熊本県	647	106
千葉県	1455	179	兵庫県	1852	193	大分県	379	112
東京都	1473	121	奈良県	386	90	宮崎県	371	94
神奈川県	1778	174	和歌山県	362	136	鹿児島県	504	87
新潟県	1089	153	鳥取県	319	47	沖縄県	165	48
富山県	639	129	島根県	317	81	合計	40980	327

表2 宮城県の業種別届出状況（平成18排出年度）

（単位：事業所）

業種	届出数	業種	届出数
1. 金属鉱業	0	4. 電気業	2
2. 原油・天然ガス鉱業	0	5. ガス業	1
3. 製造業	179	6. 熱供給業	0
食料品製造業	(5)	7. 下水道業	40
飲料・たばこ・飼料製造業	(0)	8. 鉄道業	3
繊維工業	(0)	9. 倉庫業	3
衣服・その他の繊維製品製造業	(0)	10. 石油卸売業	30
木材・木製品製造業	(8)	11. 鉄スクラップ卸売業	0
家具・装備品製造業	(2)	12. 自動車卸売業	10
パルプ・紙・紙加工品製造業	(6)	13. 燃料小売業	501
出版・印刷・同関連産業	(13)	14. 洗濯業	3
化学工業	(21)	15. 写真業	0
医薬品製造業	(2)	16. 自動車整備業	45
農薬製造業	(1)	17. 機械修理業	1
石油製品・石炭製品製造業	(3)	18. 商品検査業	1
プラスチック製品製造業	(7)	19. 計量証明業	0
ゴム製品製造業	(6)	20. 一般廃棄物処理業	42
なめし革・同製品・毛皮製造業	(1)	21. 産業廃棄物処理業	12
窯業・土石製品製造業	(8)	22. 高等教育機関	5
鉄鋼業	(4)	23. 自然科学研究所	2
非鉄金属製造業	(7)		
金属製品製造業	(16)		
一般機械器具製造業	(7)		
電気機械器具製造業	(39)		
輸送用機械器具製造業	(7)	合計	880
船舶製造・修理業、船用機関製造業	(2)		
精密機械器具製造業	(2)		
武器製造業	(0)		
その他の製造業	(12)		



(2) 排出量及び移動量の概要

事業所から届出のあった平成18年度の環境への排出量の合計は1,979トンで全国の総量245千トンの0.8%でした。移動量の合計は2,312トンで全国の総量の225千トンの1%でした。また、排出量と移動量の合計は4,291トンで全国の総量471千トンの0.9%でした。(表3)

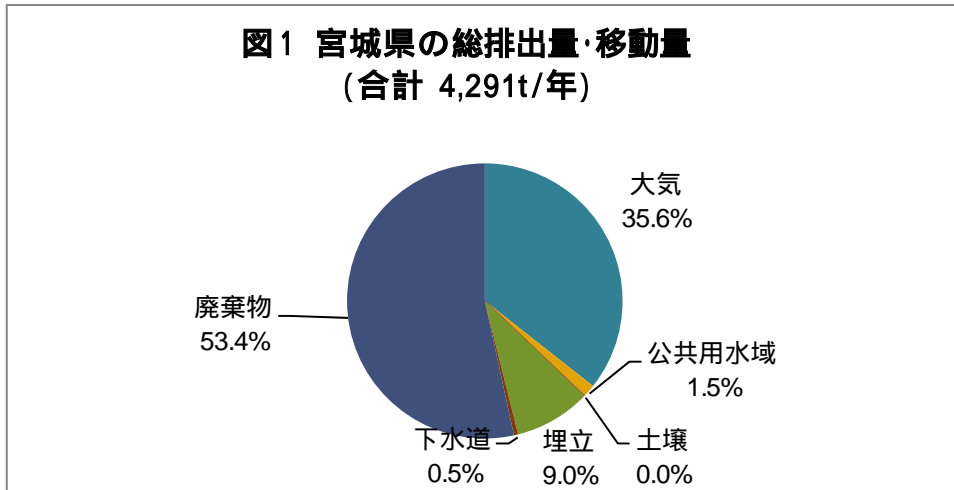
届出・排出量の合計は全国で33位でした。

表3 都道府県別の排出量・移動量(平成18年度排出・移動)

順位	都道府県名	届出数	排出量(kg/年)					移動量(kg/年)			排出・移動量合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物としての移動	下水道への移動	合計	
1	愛知県	2,517	17,303,616	487,175	6	4,627	17,795,424	15,735,967	76,937	15,812,904	33,608,328
2	静岡県	1,646	17,499,670	282,417	1	0	17,782,088	7,797,950	22,223	7,820,173	25,602,261
3	神奈川県	1,778	9,283,128	339,552	0	0	9,622,680	14,903,182	124,271	15,027,453	24,650,132
4	兵庫県	1,852	8,605,309	465,670	0	253,212	9,324,191	14,262,437	63,969	14,326,406	23,650,597
5	埼玉県	1,711	12,514,274	324,895	0	0	12,839,168	9,854,175	80,637	9,934,812	22,773,980
6	千葉県	1,455	8,421,913	329,789	5	22,023	8,773,730	13,534,315	3,957	13,538,272	22,312,002
7	茨城県	1,162	10,585,275	140,547	0	6,173	10,731,995	10,499,981	414,346	10,914,327	21,646,322
8	岡山県	931	6,475,697	364,678	0	21,090	6,861,465	10,041,633	20,549	10,062,182	16,923,647
9	大阪府	1,947	6,161,074	692,304	40	0	6,853,419	9,651,890	219,873	9,871,764	16,725,182
10	福島県	1,128	5,406,206	1,036,704	8	2,332	6,445,250	10,050,343	684	10,051,027	16,496,277
11	広島県	1,004	8,095,522	315,095	95	2,721,318	11,132,030	5,251,836	39,375	5,291,212	16,423,242
12	山口県	636	4,761,114	939,508	0	0	5,700,622	10,678,245	646	10,678,891	16,379,514
13	三重県	837	7,895,172	256,581	1	0	8,151,754	6,869,274	341	6,869,615	15,021,369
14	愛媛県	548	5,202,958	150,901	0	0	5,353,859	8,739,308	183	8,739,491	14,093,350
15	福岡県	1,434	7,193,793	318,590	0	77	7,512,460	6,381,004	12,425	6,393,429	13,905,889
16	秋田県	560	1,107,857	137,690	0	9,228,730	10,474,277	1,668,979	107	1,669,086	12,143,362
17	栃木県	878	7,961,820	92,882	1	0	8,054,703	4,039,742	12,084	4,051,825	12,106,528
18	群馬県	825	6,803,074	111,139	95	0	6,914,309	4,808,335	14,390	4,822,725	11,737,033
19	岐阜県	951	6,957,137	119,975	0	891,451	7,968,563	3,491,371	28,502	3,519,873	11,488,437
20	滋賀県	651	5,080,336	29,353	13	0	5,109,703	6,053,781	26,996	6,080,777	11,190,479
21	福井県	423	2,868,702	453,682	0	0	3,322,383	5,493,217	61,974	5,555,191	8,877,574
22	香川県	417	6,229,283	58,949	3	740	6,288,975	1,869,758	4,417	1,874,175	8,163,150
23	和歌山県	362	2,945,980	47,010	0	0	2,992,990	4,862,706	7,396	4,870,102	7,863,092
24	富山県	639	2,404,248	165,926	0	0	2,570,174	4,842,342	4,009	4,846,352	7,416,526
25	新潟県	1,089	3,585,221	417,560	60	250,000	4,252,841	2,074,134	7,062	2,081,196	6,334,037
26	東京都	1,473	2,394,897	459,699	51	144	2,854,791	2,855,079	61,680	2,916,759	5,771,550
27	京都府	706	3,063,303	176,007	0	0	3,239,311	2,249,501	183,316	2,432,817	5,672,128
28	石川県	534	3,390,721	124,491	41	0	3,515,253	1,467,106	323,841	1,790,947	5,306,200
29	宮崎県	371	415,226	109,003	65	2,700,000	3,224,294	1,999,034	1,435	2,000,469	5,224,763
30	長野県	1,341	2,728,673	122,384	0	0	2,851,057	1,896,663	25,033	1,921,696	4,772,753
31	大分県	379	1,218,658	81,731	120	0	1,300,509	3,351,668	483	3,352,150	4,652,659
32	熊本県	647	2,692,370	132,349	0	0	2,824,720	1,649,120	4,258	1,653,378	4,478,097
33	宮城県	880	1,528,657	63,591	15	386,773	1,979,036	2,291,291	20,534	2,311,825	4,290,861
34	北海道	2,221	2,202,826	407,140	49,049	87	2,659,101	1,453,787	18,430	1,472,217	4,131,318
35	長崎県	368	2,972,958	46,287	0	0	3,019,245	512,566	19,554	532,119	3,551,364
36	島根県	317	2,122,676	128,562	0	20,510	2,271,747	1,063,572	13	1,063,585	3,335,332
37	岩手県	562	1,928,007	75,046	6	0	2,003,059	1,257,822	28,158	1,285,979	3,289,038
38	山形県	632	1,002,689	51,657	5	0	1,054,350	2,066,254	11,756	2,078,101	3,132,360
39	山梨県	386	2,042,394	16,560	0	0	2,058,954	946,617	29,176	975,793	3,034,747
40	佐賀県	385	1,805,877	29,615	0	0	1,835,492	869,779	604	870,383	2,705,875
41	徳島県	340	649,021	45,017	0	0	694,038	1,585,309	96	1,585,405	2,279,442
42	奈良県	386	1,137,261	13,531	0	0	1,150,792	670,680	300,372	971,052	2,121,844
43	沖縄県	165	77,896	20,538	0	1,400,000	1,498,434	121,470	0	121,470	1,619,904
44	鳥取県	319	931,421	3,943	0	0	935,363	341,270	7,550	348,820	1,284,183
45	青森県	472	301,517	204,806	85,000	3	591,326	492,533	98	492,631	1,083,957
46	鹿児島県	504	359,221	136,858	1,790	0	497,869	278,857	405	279,262	777,131
47	高知県	211	485,668	19,897	68	0	505,633	266,553	700	267,253	772,886
	合計	40,980	216,800,316	10,547,284	136,538	17,909,290	245,393,427	223,142,436	2,284,845	225,427,280	470,820,702

環境への排出量1,979トン(総排出量・移動量の46.1%)は、大気への排出が1,529トン(35.6%)、公共用水域への排出が64トン(1.5%)、土壌への排出が0.02トン(0.0%)、事業所内埋立が387トン(9.0%)でした。また、移動量2,312トン(総排出量・移動量の53.9%)は、廃棄物としての移動が2,291トン(53.4%)、下水道への移動が21トン(0.5%)でした。(図1)

図1 宮城県の総排出量・移動量
(合計 4,291t/年)



(3) 排出量の多い物質

宮城県で届出排出量の多い上位物質は表4のとおりであり、排出先別では表5から表8のとおりでした。

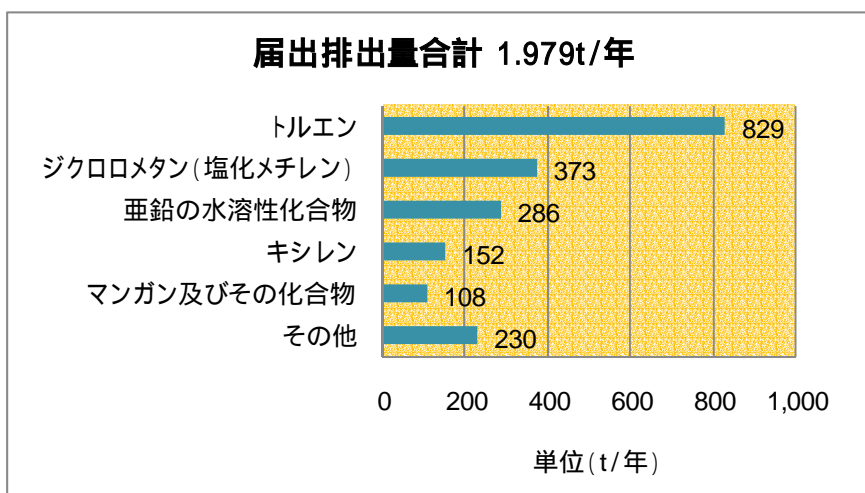
<届出排出量合計>

環境への排出量の上位5物質の合計は1,749トンで、総排出量1,979トンの88%に当たります。

(表4)

表4 環境への届出排出量合計上位5物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
排出量 合計	227	トルエン	合成原料、ガソリン成分	829,211	42%
	145	塩化メチレン	金属洗浄剤	373,124	19%
	1	亜鉛の水溶性化合物	乾電池の電解液	286,310	14%
	63	キシレン	合成原料、ガソリン・灯油成分	152,490	8%
	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼・電池	107,648	5%
		その他		230,253	12%
		合計		1,979,036	100%

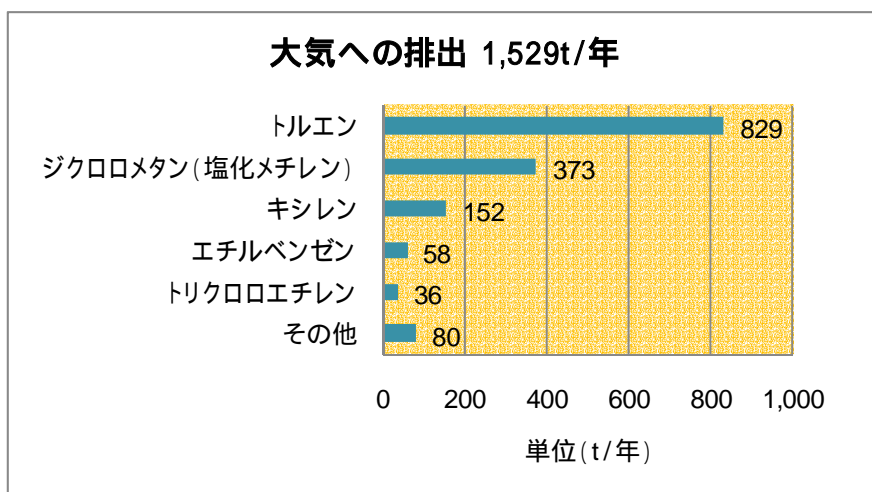


< 大気への排出量 >

大気への排出量の上位 5 物質の合計は1,448トンで大気への総排出量1,529トンの95%に当たります。トルエン、ジクロロメタン、キシレン等の物質は、溶剤、洗浄剤等として使用されており、揮発性が高い物質であるため、大気への排出が多くなっています。(表5)

表5 大気への届出排出量の上位 5 物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
大気への 排出	227	トルエン	合成原料、ガソリン成分	829,211	54%
	145	ジクロロメタン(塩化メチレン)	金属洗浄剤	373,085	24%
	63	キシレン	合成原料、ガソリン・灯油成分	152,490	10%
	40	エチルベンゼン	ガソリン成分、溶剤	57,700	4%
	211	トリクロロエチレン	溶剤、洗浄剤	35,800	2%
		その他		80,371	5%
		合計		1,528,657	100%

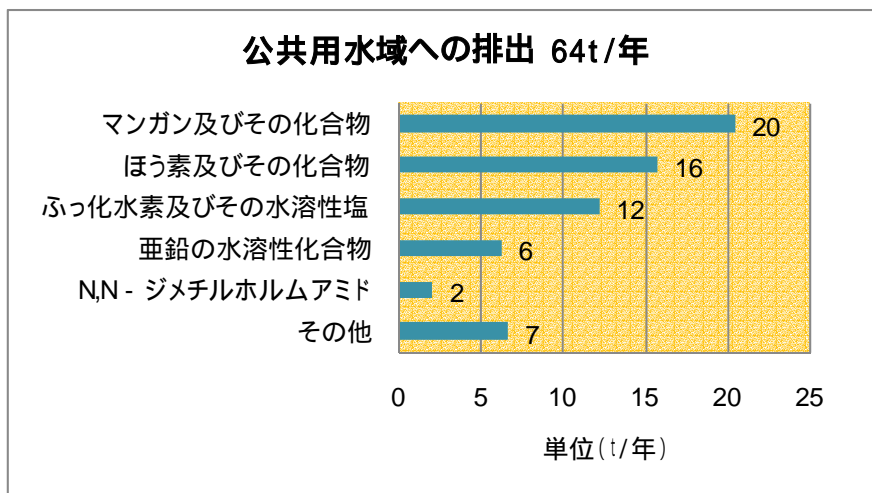


< 公共用水域への排出量 >

公共用水域への排出量の上位 5 物質の合計は57トンで、公共用水域への総排出量64トンの90%にあたります。(表6)

表6 公共用水域への届出排出量上位 5 物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
公共用 水域 への排出	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼、電池	20,498	32%
	304	ほう素及びその化合物	ガラス添加剤、脱酸剤、電子材料	15,804	25%
	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	合成原料、金属ガラスの表面処理	12,264	19%
	1	亜鉛の水溶性化合物	乾電池の電解液	6,254	10%
	172	N,N-ジメチルホルムアミド	溶媒、触媒、ガス吸収剤	2,100	3%
		その他		6,671	10%
		合計		63,591	100%

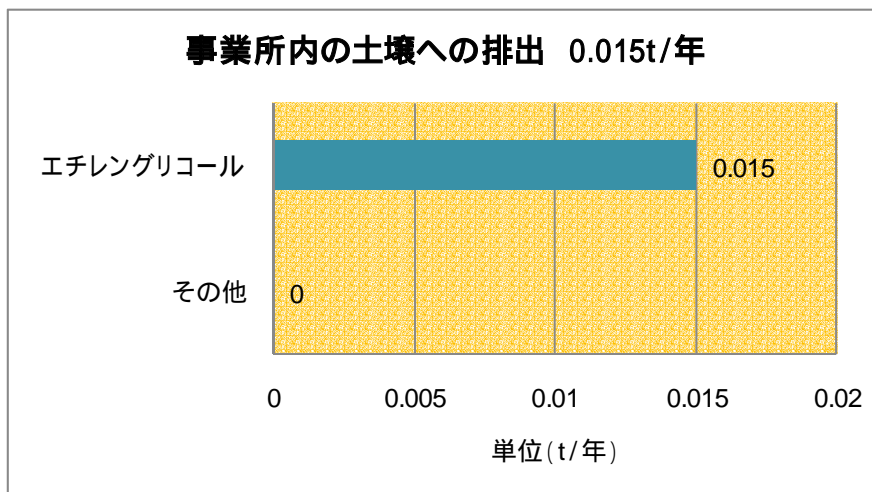


< 土壌への排出量 >

土壌への排出量0.02トンは、全てエチレングリコールです。(表7)

表7 土壌への届出排出物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
土壌への 排出	43	エチレングリコール	ポリエステル繊維・樹脂原料	15	100%
		その他		0	0%
		合計		15	100%

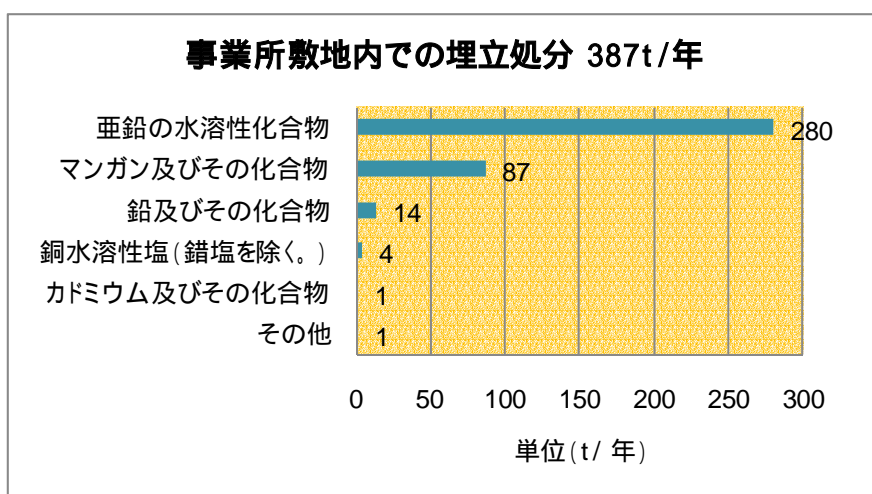


< 事業所敷地内への埋立処分 >

事業所敷地内における埋立処分量上位5物質の合計は386トンで、事業所敷地内における総埋立処分量387トンのほぼ100%にあたります。(表8)

表 8 事業所内埋立処分届出排出量上位 5 物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
事業所 敷地内の 埋立処分	1	亜鉛の水溶性化合物	乾電池の電解液	280,000	72%
	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼、電池	87,000	22%
	230	鉛及びその化合物	バッテリー・はんだ原料	14,000	4%
	207	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	農薬、繊維、顔料、触媒	3,800	1%
	60	カドミウム及びその化合物	顔料、電池、合金、メッキ	910	0%
		その他		1,063	0%
		合 計		386,773	100%

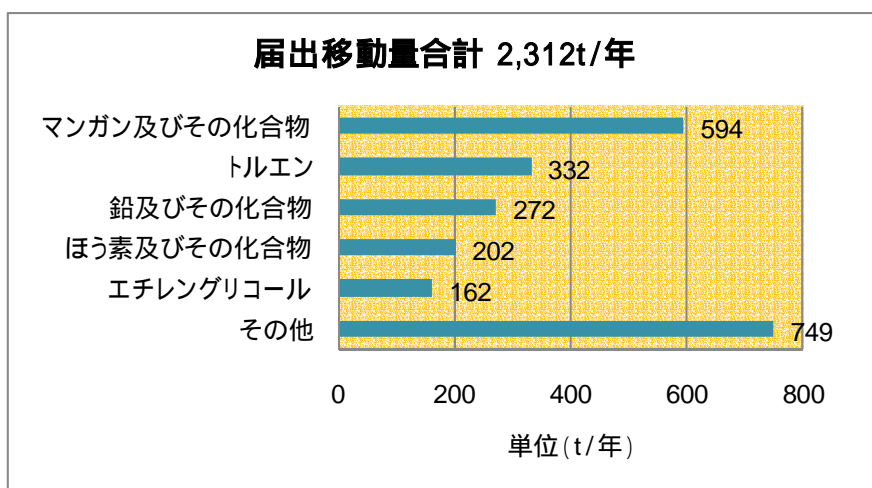


(4) 移動量の多い物質

移動量の上位 5 物質の合計は、1,563トンで総移動量2,312トンの68%にあたります。(表9)

表 9 届出移動量合計上位 5 物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	移動量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
移動量 合計	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼、電池	594,454	26%
	227	トルエン	合成原料、ガソリン成分	332,144	14%
	230	鉛及びその化合物	バッテリー・はんだ原料	272,285	12%
	304	ほう素及びその化合物	ガラス繊維原料、ごきぶり駆除剤	201,953	9%
	43	エチレングリコール	ポリエステル繊維・樹脂原料	162,169	7%
		その他		748,820	32%
		合 計		2,311,825	100%

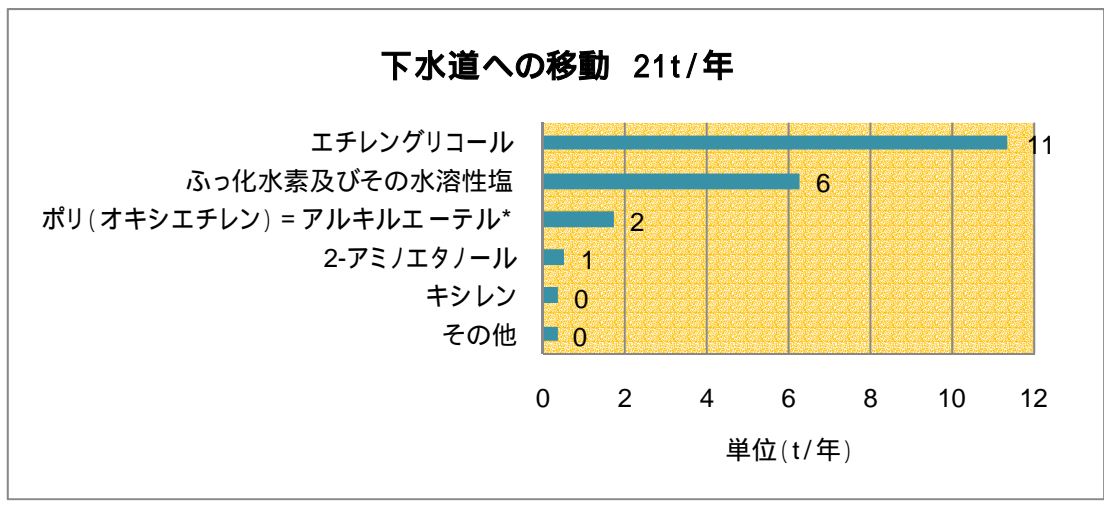


< 下水道への移動量 >

下水道への移動量上位 5 物質の合計は、20トンで、下水道への総移動量21トンの98%にあたります。(表10)

表 10 下水道への移動量上位 5 物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	移動量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
公共下 水道へ の移動	43	エチレングリコール	ポリエステル繊維・樹脂原料	11,378	55%
	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	合成原料、金属ガラスの表面処理	6,259	30%
	307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	台所用洗剤の海面活性剤	1,717	8%
	16	2-アミノエタノール	pH調整剤、防かび剤	510	2%
	63	キシレン	化学原料、油性塗料溶剤	351	2%
		その他		319	2%
		合計		20,534	100%



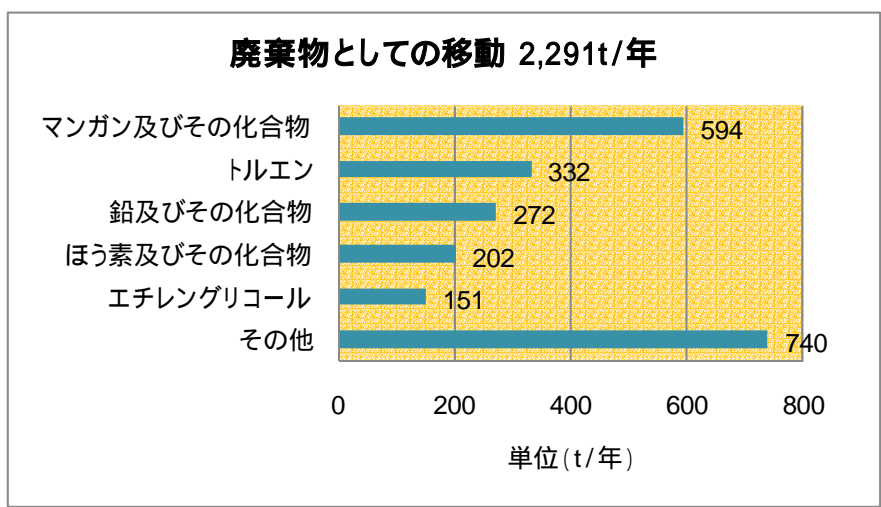
*アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る

< 廃棄物としての移動量 >

廃棄物への移動量の上位 5 物質の合計は、1,552トンで、廃棄物への総移動量2,291トンの68%にあたります。(表11)

表 11 廃棄物としての移動量上位 5 物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	移動量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
事業所 の外へ の移動	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼、電池等	594,453	26%
	227	トルエン	合成原料、溶剤	332,144	14%
	230	鉛及びその化合物	バッテリー・はんだ原料	272,284	12%
	304	ほう素及びその化合物	ガラス繊維原料、ごきぶり駆除剤	201,915	9%
	43	エチレングリコール	ポリエステル繊維・樹脂原料	150,791	7%
		その他		739,704	32%
		合計		2,291,291	100%



(5) 排出量及び移動量の多い業種

排出量と移動量の合計は、4,291トンです。このうち、製造業23業種の排出量・移動量の合計は、4,008トンで全体の93.4%にあたります。

排出量・移動量上位10業種の合計は3,648トンであり、総排出量・移動量の85%にあたります。

上位10業種は、鉄鋼業1,082トン(25%)、電気機械器具製造業697トン(16%)、出版・印刷・同関連産業426トン(10%)、非鉄金属製造業423トン(10%)、木材・木製品製造業212トン(5%)、石油製品・石炭製品製造業207トン(5%)、金属製品製造業172トン(4%)、プラスチック製品製造業156トン(4%)、その他の製造業139トン(3%)、船舶製造・修理業、船用機関製造業134トン(3%)の順となっています。(表12、図2)

表12 届出排出・移動量合計上位10物質

順位	業種コード	業種名	排出・移動量合計	構成比
1	2600	鉄鋼業	1,082,429	25%
2	3000	電気機械器具製造業	697,478	16%
3	1900	出版・印刷・同関連産業	425,850	10%
4	2700	非鉄金属製造業	422,516	10%
5	1600	木材・木製品製造業	212,329	5%
6	2100	石油製品・石炭製品製造業	207,082	5%
7	2800	金属製品製造業	172,304	4%
8	2200	プラスチック製品製造業	155,716	4%
9	3400	その他の製造業	138,565	3%
10	3140	船舶製造・修理業、船用機関製造業	133,905	3%
		その他	642,687	15%
上位10業種合計			3,648,174	85%
総排出・移動量			4,290,861	100%

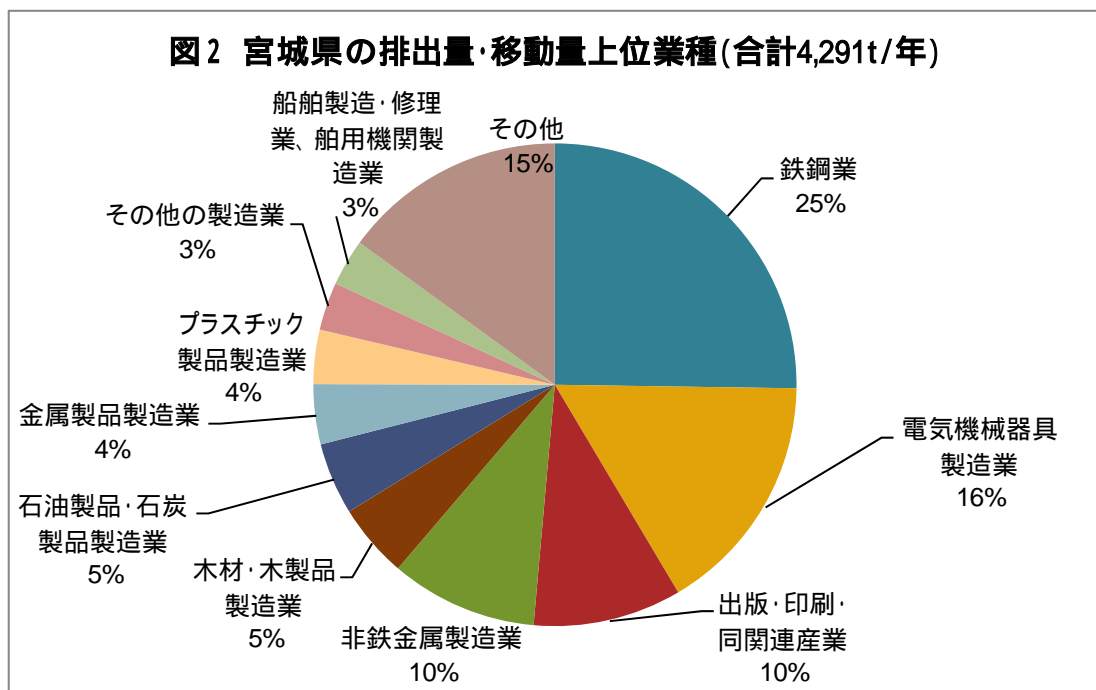


表13 宮城県の排出量及び移動量（平成18年度排出・移動）

（単位：kg/年）

番号	物質番号	対象化学物質 物質名	排出量					移動量			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物 移動	下水道への 移動	合計	
1	1	亜鉛の水溶性化合物	56	6,254	0	280,000	286,310	55,576	14	55,590	341,900
2	2	アクリルアミド	0	1	0	0	1	2	0	2	3
3	3	アクリル酸	1	0	0	0	1	11	0	11	12
4	4	アクリル酸エチル	32	0	0	0	32	0	0	0	32
5	7	アクリロニトリル	0	0	0	0	0	5	0	5	5
6	9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	0	0	0	0	0	430	0	430	430
7	16	2-アミノエタノール	341	10	0	0	351	28,300	510	28,810	29,161
8	24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	5	0	0	0	5	3	4	7	13
9	25	アンチモン及びその化合物	13	0	0	0	13	420	0	420	433
10	26	石綿	0	0	0	0	0	13,600	0	13,600	13,600
11	30	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂)(液状のものに限る。)	110	0	0	0	110	16,932	0	16,932	17,042
12	36	O-エチル=O-(6-ニトロ-m-トリル)=sec-ブチルホスホルアミドチオアート(別名ブタミホス)	0	0	0	0	0	4	0	4	4
13	37	O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホノチオアート(別名EPN)	0	279	0	0	279	0	0	0	279
14	40	エチルベンゼン	57,700	0	0	0	57,700	9,196	0	9,196	66,896
15	43	エチレングリコール	496	571	15	0	1,082	150,791	11,378	162,169	163,251
16	44	エチレングリコールモノエチルエーテル	4	0	0	0	4	2	0	2	5
17	45	エチレングリコールモノメチルエーテル	37	0	0	0	37	34	0	34	71
18	46	エチレンジアミン	29	0	0	0	29	1,500	44	1,544	1,573
19	50	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガンとN,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛の錯化合物(別名マンコゼブ又はマンゼブ)	0	0	0	0	0	56	0	56	56
20	54	エビクロロヒドリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	59	p-オクチルフェノール	0	0	0	0	0	190	0	190	190
22	60	カドミウム及びその化合物	2	54	0	910	966	6,800	0	6,800	7,766
23	61	-カプロラクタム	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	63	キシレン	152,490	0	0	0	152,490	36,391	351	36,742	189,232
25	64	銀及びその水溶性化合物	0	0	0	0	0	156	7	163	163
26	65	グリオキサール	16	0	0	0	16	0	12	12	28
27	66	グルタルアルデヒド	0	0	0	0	0	130	0	130	130
28	67	クレゾール	240	0	0	0	240	2,039	0	2,039	2,279
29	68	クロム及び三価クロム化合物	3	466	0	58	527	50,382	0	50,382	50,909
30	69	六価クロム化合物	0	167	0	0	167	1,130	4	1,134	1,301
31	81	2-クロロ-2,6-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド(別名プレチラクロール)	0	0	0	0	0	10	0	10	10
32	85	クロロジフルオロメタン(別名HCFC-22)	4,912	0	0	0	4,912	0	0	0	4,912
33	90	2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-1,3,5-トリアジン(別名シマジンはCAT)	0	6	0	0	6	0	0	0	6
34	95	クロロホルム	19,204	1,900	0	0	21,104	6,700	0	6,700	27,804
35	100	コバルト及びその化合物	0	62	0	0	62	17,773	0	17,773	17,835
36	101	酢酸2-エトキシエチル(別名エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)	0	0	0	0	0	5,500	0	5,500	5,500
37	102	酢酸ビニル	230	0	0	0	230	0	0	0	230
38	105	-シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ-4,4'-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリナート(別名フルバリネート)	0	0	0	0	0	2	0	2	2
39	108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	30	347	0	0	377	578	1	579	956
40	110	N,N-ジエチルチオカルバミン酸S-4-クロロベンジル(別名チオベンカルブ又はベンチオカーブ)	0	17	0	0	17	6	0	6	23
41	111	N,N-ジエチル-3-(2,4,6-トリメチルフェニル)スルホニル-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド(別名カフェンストロール)	0	0	0	0	0	86	0	86	86
42	112	四塩化炭素	0	5	0	0	5	0	0	0	5
43	114	シクロヘキシルアミン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	0	0	0	0	0	8,200	0	8,200	8,200
45	116	1,2-ジクロロエタン	0	9	0	0	9	0	0	0	9
46	117	1,1-ジクロロエチレン(別名塩化ビニリデン)	0	39	0	0	39	0	0	0	39
47	118	cis-1,2-ジクロロエチレン	0	77	0	0	77	0	0	0	77
48	132	1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(別名HCFC-141b)	4,800	0	0	0	4,800	4,300	0	4,300	9,100

106	338	メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート(別名m-トリレンジイソシアネート)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
107	346	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	120,307	0	120,307	120,307
108	350	りん酸ジメチル=2,2-ジクロロビニル(別名ジクロロボス又はDDVP)	0	0	0	0	0	17	0	17	17
		合計	1,528,657	63,591	15	386,773	1,979,036	2,291,291	20,534	2,311,825	4,290,861

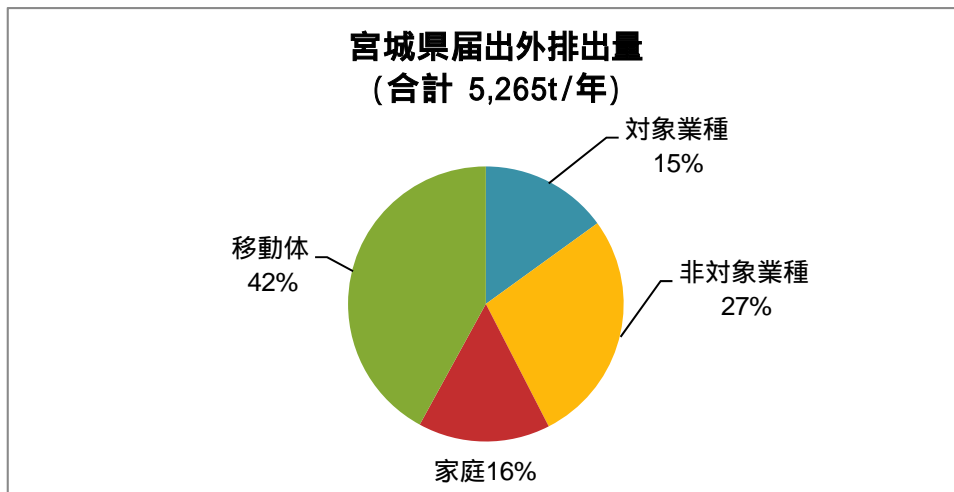
備考1 大気：大気への排出 公共用水域：公共用水域への排出 土壌：事業所内の土壌への排出 埋立：事業所内の埋立処分

2 下水道：下水道への移動 廃棄物：事業所外への廃棄物としての移動

3 ダイオキシン類については、単位系が異なるため移動量・排出量の合計から除外している

3 届出外排出量の集計結果

経済産業省及び環境省が推計を行った宮城県内における届出外排出量の合計は5,265トンでした。宮城県は移動体からの排出量の割合が全国に比較して多く、非対象業種からの割合が少ない傾向にありました。

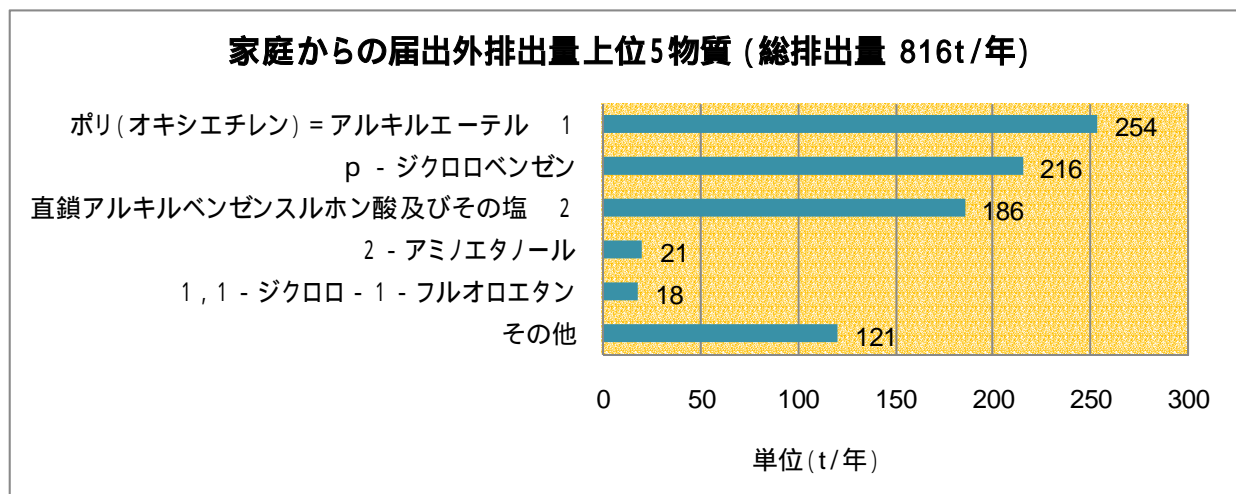


対象業種：対象業種に属する事業を営む事業者の事業活動に伴って環境に排出されていると見込まれる量（届け出られたもの、移動体からのものを除く）

非対象業種：対象業種以外の業種に属する事業のみを営む事業者の事業活動に伴って環境に排出されていると見込まれる量（移動体からのものを除く）

< 家庭からの排出量 >

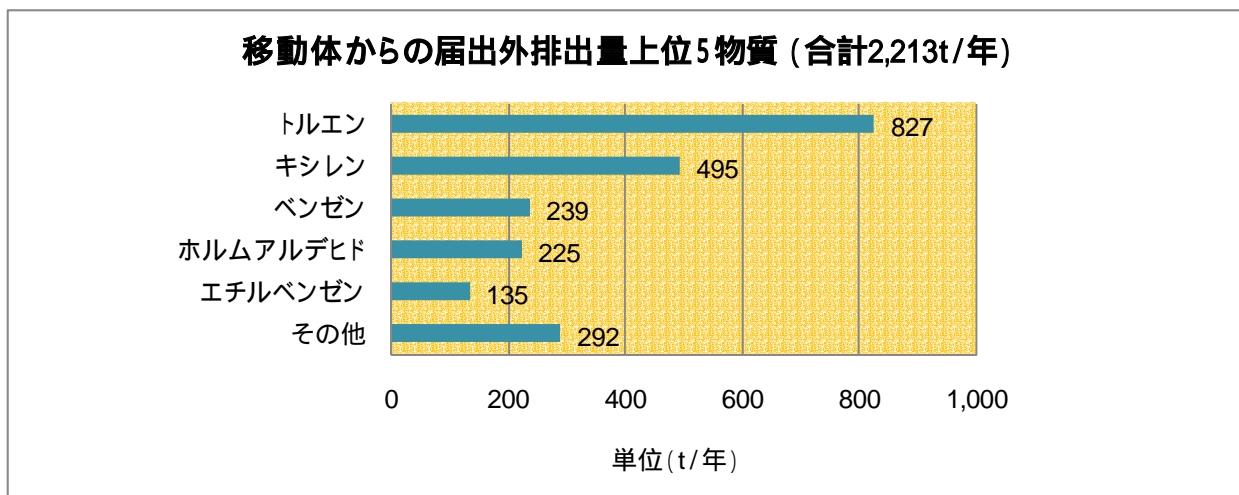
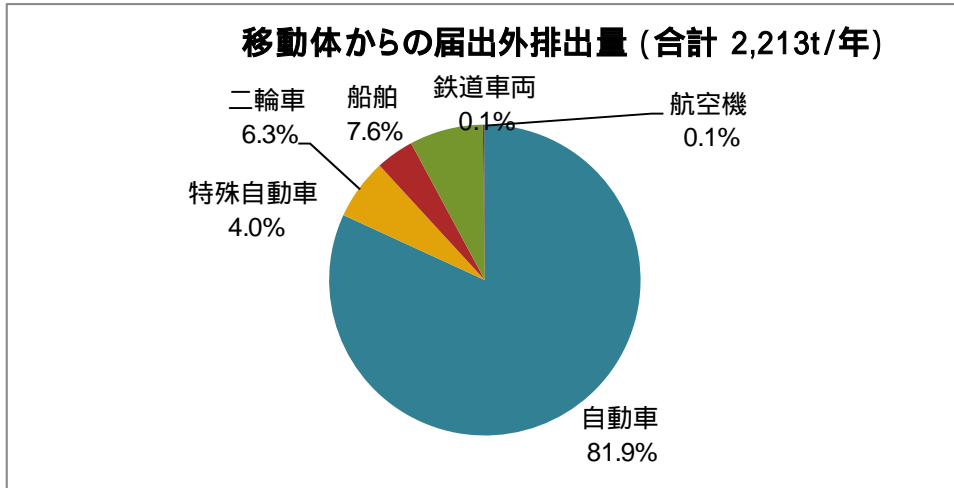
家庭からの届出外排出量の合計は816 t であり、上位物質であるポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテルは界面活性剤として主に台所用洗剤などに含まれています。p - ジクロロベンゼンは家庭で使用される衣類防虫剤が主な発生源となっています。また、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩は合成洗剤の主成分などとして使われています。



- 1 アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る
- 2 アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る

< 移動体からの排出量 >

移動体からの届出外排出量の合計は2,213 t であり、自動車からの排出量が最も多くなっています。上位物質であるホルムアルデヒドは自動車などの排気ガスの中に含まれる炭化水素から発生すると考えられ、特にディーゼル車からの排出が多いとされています。



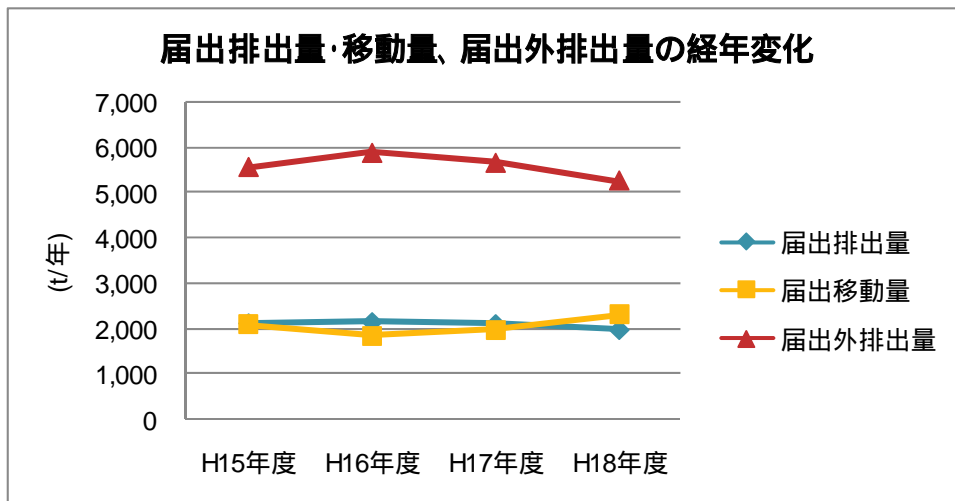
4 経年比較（年間の取扱量が1トン以上の事業者が届出となった平成15年からの比較）

（1）排出量・移動量の推移

平成15年度から届出事業所数は毎年増えています。届出排出量・移動量、届出外排出量は増減しています。

排出量・移動量の推移

単位（t）		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
排出事業所数（事業所）		826	847	858	880
届出	排出量・移動量	4,218	3,999	4,078	4,291
	排出量	2,126	2,153	2,108	1,979
	排出量（大気へ）	1,852	1,805	1,672	1,529
	排出量（公共用水域へ）	77	72	47	64
	排出量（土壌へ）	0.07	0.05	0.02	0.02
	排出量（事業所内埋立）	196	276	389	387
	移動量	2,092	1,846	1,970	2,312
	移動量（廃棄物として）	2,061	1,823	1,952	2,291
	移動量（下水道へ）	31	23	18	21
届出外	排出量	5,570	5,890	5,663	5,265
	排出量（移動体）	2,270	2,549	2,493	2,213



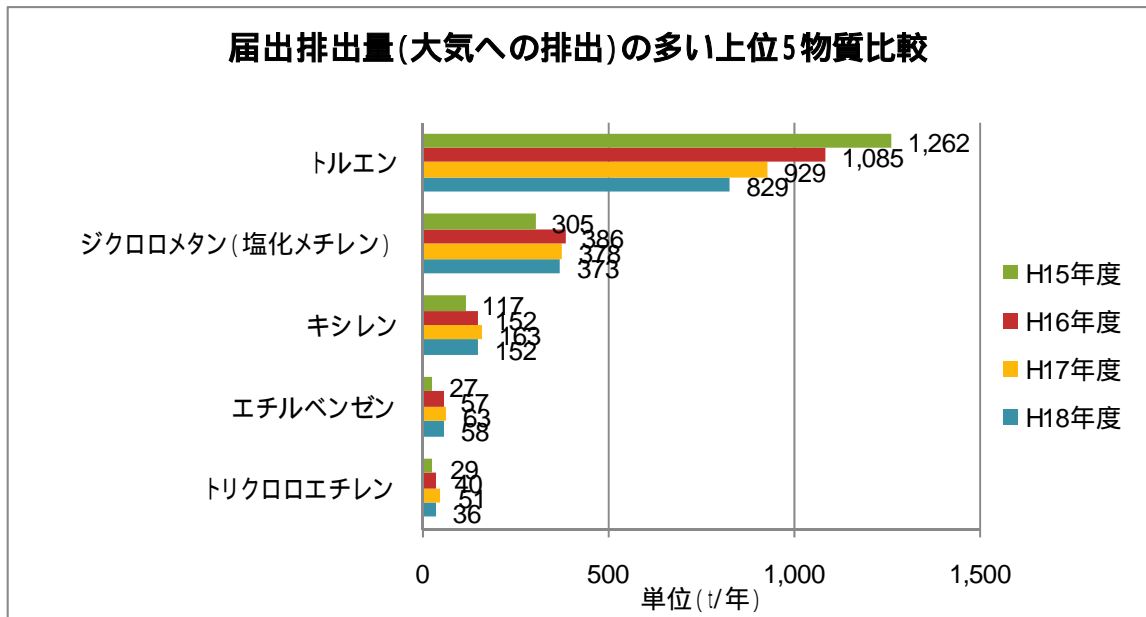
（2）物質ごとの比較

<届出排出量（大気への排出）の多い上位5物質>

平成18年度に最も大気への排出が多かったトルエンについては年々減少していますが、その他の物質については増減しています。

届出排出量（大気への排出）の多い上位5物質

		単位（t/年）			
H18 順位	物質名	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
1	227 トルエン	1,262	1,085	929	829
2	145 ジクロロメタン（塩化メチレン）	305	386	378	373
3	63 キシレン	117	152	163	152
4	40 エチルベンゼン	27	57	63	58
5	211 トリクロロエチレン	29	40	51	36



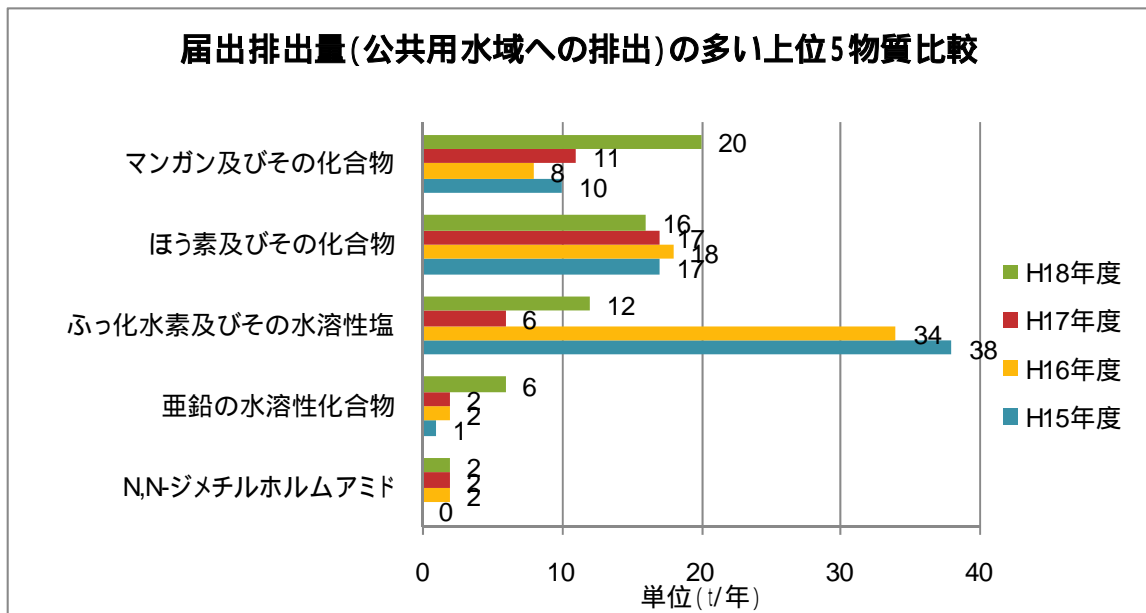
<届出排出量(公共用水域への排出)の多い上位5物質>

マンガン及びその化合物、ふっ化水素及びその水溶性塩については変動がありますが、その他の物質についてはそれほど変動はありません。

届出排出量(公共用水域への排出)の多い上位5物質

単位 (t / 年)

H18 順位	物質名	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
1	311 マンガン及びその化合物	10	8	11	20
2	304 ほう素及びその化合物	17	18	17	16
3	283 ふっ化水素及びその水溶性塩	38	34	6	12
4	1 亜鉛の水溶性化合物	1	2	2	6
5	172 N,N-ジメチルホルムアミド	0	2	2	2



<届出移動量（廃棄物としての事業所の外への移動）の多い上位5 物質>

鉛及びその化合物については年々減少していますが、ほう素及びその化合物については大幅に増加しています。

届出排出量（廃棄物としての事業所の外への移動）の多い上位5 物質

単位（t/年）

H18 順位	物質名	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
1	311 マンガン及びその化合物	511	397	452	594
2	227 トルエン	353	325	302	332
3	230 鉛及びその化合物	397	366	335	272
4	304 ほう素及びその化合物	20	22	190	201
5	43 エチレングリコール	188	191	175	150

